

施策評価シート

評価年度	令和元年度	事業実施年度	平成30年度	施策主管次長名	都市建設部次長 小嶋 誠		
施策番号	60	施策名	安全で快適な住環境が整ったまち			総合計画掲載頁	80
関係課名	道路河川課、防災安全課、都市計画課						

1. 施策の概要

施策の目的	対 象	対象指標名	単位	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
		区画整理区域						
		・住宅						
		・市民						
		・市内全域						
意 図	安全で災害に強い基盤整備を実施する ・災害等から住民を守る		成果指標名	区画整理事業によって整備された面積				
				住宅の耐震化率				
				指定一時避難場所の耐震化率				

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	区画整理事業によって整備された面積	ha	472.8	466.6	471.0	466.6	476.4	478.0
	指標設定の考え方と把握方法	区画整理によって整備された区域は住環境の快適度が高い。面積割合は担当課より把握。						
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	住宅の耐震化率	%	92.0	87.5	91.0	88.1	90.4	95.0
	指標設定の考え方と把握方法	耐震化された住宅戸数が増えれば安全、安心度は高い。耐震化率は担当課から把握。						
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	指定一時避難場所の耐震化率	%	100	100	100	100	100	100
	指標設定の考え方と把握方法	災害から住民を守るため指定一時避難場所の耐震化率とした。耐震化率の把握は担当課より把握						
指標	成果指標名	単位	H29計画	H29実績	H30計画	H30実績	H31計画	総計目標
	指標設定の考え方と把握方法							

3. 施策の評価

項目		評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	市民・土地建物所有者・事業者はまちづくりを理解し参加協力する。 ・地震災害などに関心を持ち、家庭や地域で自助による減災。				
	行政	適正な開発指導や土地区画整理事業への支援を行う。 ・耐震化への啓発活動や地震に関する知識の普及および、住宅地の耐震化支援を行う。				
達成度評価	近隣との比較	近隣市町村との比較は、まちづくりの方向性、市域の面積規模、地形が異なるため単純に比較できない。				
	過去3年間の実績との比較	・平成31年度末で三好中部特定土地区画整理事業の一部供用開始(約9.8ha)が予定されている。 ・平成28年度から平成30年度の住宅耐震は、595戸(耐震改修29戸、新基準566戸)であり、2.2%増加した。				
現状と課題		・住宅の耐震化率は、平成30年度実績で88.1%であるが、耐震基準を満たしていない戸数が2,358戸ある。 ・区画整理事業完了済みの区域では宅地化が進展している。 ・耐震化促進のため、耐震対策補助制度の活用を推進。(平成30年度実績 5件 6,000千円)				
課題を踏まえた今後の取組の方向性		(今後の取組の方向性) ・大規模地震の発生に備え民間住宅の耐震化を促進する必要がある。 ・限られた財源の中で、市街地整備や都市施設等の整備を行うため依存財源の確保を図る。 ・業務継続計画(BCP)の運用訓練を実施していく。				
市民意識	重要度	高い	満足度	高い	平成30年度市民アンケート調査による	